

## 患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)

この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

### 記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2023年 9月22日
研究終了日	2029年 3月31日 まで
研究の名称	視神経脊髄炎患者の治療指標の開発研究
研究対象	視神経脊髄炎と診断された患者さんのうち、以下の条件を満たす方を対象としています。なお、担当医師の判断によっては参加できないこともあります。
対象材料	血液材料 診療記録
対象期間	2007年以降2029年3月末まで行われます。
研究の目的意義	<p>視神経脊髄炎(NMOSD)は視神経、脳、脊髄に障害を来す比較的若年に発症する中枢神経自己免疫疾患であり、運動障害に加えて高次脳機能障害など様々な障害を来すことが知られています。NMOSDはこれまでステロイドや免疫抑制剤による治療が中心でしたが、最近ではIL-6R抗体、CD19抗体、CD20抗体、C5抗体などの生物学的製剤の登場により再発や運動障害は劇的に改善を認めていますが、高次脳機能障害や疲労、抑うつなどへの効果は不明な点も多い状況です。</p> <p>また、NMOSDではMRI画像が診断や病勢の評価に使用されていますが、画像上明かな病変がない場合でも症状の進行を来すことがあり、病気の状態を反映する指標や治療効果を判定する指標の開発が望まれています。本研究は運動障害に加えて高次脳機能や痛み、疲労、うつ、生活の質などの様々な非運動症状についても評価し、NMOSDにおける疾患活動性の評価指標および治療評価指標の開発を目指すことを目的としています。</p>
方法	本研究では診療で得られた画像検査や血液、髄液検査を含めた臨床情報を利用します。診療で行われた評価以外に高次脳機能検査や質問紙票を用いた臨床的評価を行います。
個人情報の取り扱い	情報提供の際にはあなたのお名前などあなたを特定出来る情報の代わりに、研究用の符合をつけることで個人を特定出来ないようにします。
問い合わせ先	市立豊中病院 脳神経内科 横江 勝 TEL:06-6843-0101